

常なる磐

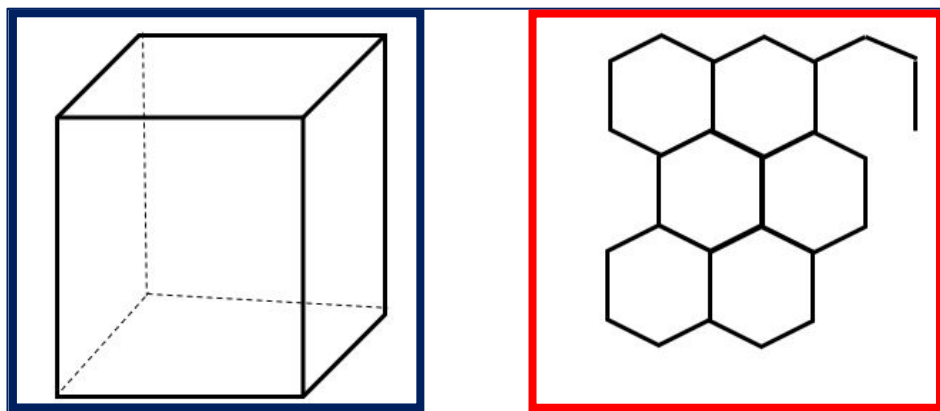
つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 6月 3日(金)

その1 通算 237号

◇ シリーズ【コグトレ：認知訓練】 ③ <見る力 編>

◆コグトレ【見る力】



トレーニングとして
実際に行うのは、

【見て】→【模写する】

というもの。

左：立方体

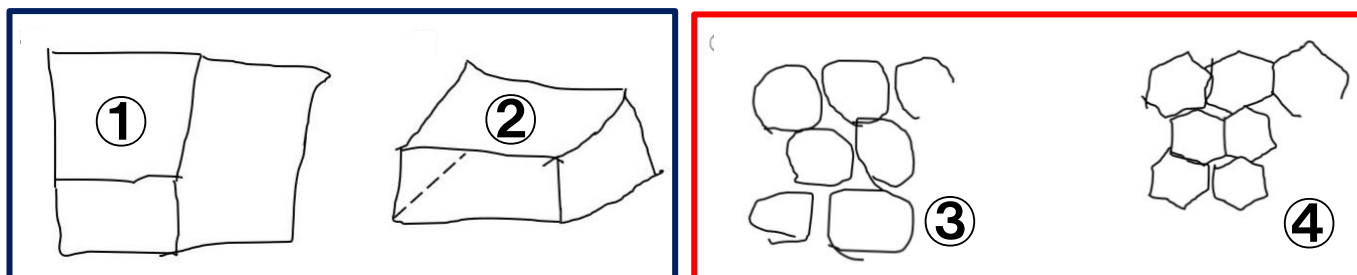
右：ハチの巣

宮口氏によれば、「2つの立体を8～9歳くらいまでに描けるかで認知機能の発達具合をはかる一つの目安になる」とのこと。

立方体は、「奥行き」がつかめないと、立体図ではなく「四角形が集まっている」ように見えやすい。また、**ハチの巣**は、「六角形が集まっていること」と「各辺を共有していること」が理解できなければ写すのが難しくなる。



※認知機能が弱い場合を再現したもの ①②：立方体 ③④：ハチの巣



① 「奥行きがつかめない」ときによく描かれる

② 立方体は認識はできているが、模写できない

③ 六角形が丸に見える。その丸が集まっているだけ

④ 六角形は認識できているが、辺が共有されていない

記憶をたどるのではなく、手本(見本)が目の前にある状態で描いた場合である。

◆【写す】トレーニングで、視覚認知の基礎力を強化する

図形を理解するのが苦手なタイプや、音読をしても読み間違いが多いタイプに適した【視覚認知の基礎力を強化する「写す」トレーニング】。

そのひとつが「点つなぎトレーニング」。さあ、やってみよう。

コツ
ト
点つなぎ ① -2

年 月 日

上の絵と同じように点をつないで下に写しましょう。

↓	↓	↓

左の図を黒くぬったものを右から選び () に番号を書きましょう。

① ()	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td>8</td> <td></td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td>11</td> <td></td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td>14</td> <td></td> <td>15</td> <td></td> </tr> </table>	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15	
1		2		3																											
4		5		6																											
7		8		9																											
10		11		12																											
13		14		15																											
② ()																															
③ ()																															
④ ()																															
⑤ ()																															

◆「見つける」トレーニングで、視覚認知の応用力を強化する

形の恒常性を強化し、目に見えるたくさんの情報の中から共通点や相違点を見つけていくのが「見つける」トレーニング。

形の恒常性とは、見る角度を変えても形に見える現象のこと。

そのひとつに

「黒ぬり図形トレーニング」がある。

さあ、やってみよう。

お気付きだろうか。

あれに似ている…そのとおり。

「知能テスト」。親戚だな。